

### ◆第5回 テーマ別読解演習「家族」②／物語文

前回に続き、物語文の学習では、場面や登場人物の心情の変化に着目し、主題をおさえましょう。「家族」のテーマでは、家族の心のつながりが問われます。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問二 具体化の問題です。「同じ」とあるので、何と何が対比されているのかをおさえます。

問三 暗示・象徴の問題です。物語の出来事からおさえます。

問八 主題の問題です。家族の絆を意識して考えます。

㊦ 問二 理由の問題ですが、設問の条件にもあるように、出来事だけでなく心情も含めた解答を作りましょう。

問四 傍線部の「頭を抱えて」の行動が、どんなことを表そうとしているのかをおさえます。

問五 登場人物の、「言っていること」と「本心」は必ずしも一致しません。

宿題 問五 内容の具体化の問題です。

問七 出来事をおさえ、うまく理由をまとめてみましょう。

### ◆第6回 テーマ別読解演習「家族」③／物語文

前回に続き、物語文の学習では、場面や登場人物の心情の変化に着目し、主題をおさえましょう。記述は、文章中の言葉も使いながら、自分の言葉を補って書くようにしましょう。

㊦ 問三 具体化の問題ですが、キーワードが指定されています。

問六 「どのようなことを表していますか」という聞き方に注意しましょう。

問八 暗示・象徴の問題です。

㊦ 問五 具体化の問題ですが、説明した文の空欄を埋める形式の問題です。こういう問題にもなれていきましょう。

問六 亡くなった祖母への思いを読み取りましょう。

問八 主題の問題です。文章全体の出来事をふまえて考える問題です。

宿題 問七 暗示・象徴の問題です。

問九 これも暗示・象徴の問題です。「ぼく」と「お父さん」の関係を暗示したものとしてふさわしいものを選びます。

2月から新5年生の学習がスタートしましたが、学習のリズムはしっかりとできていますか？この講座をより深く理解するためには、本科教室をしっかりと理解することが必要です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。各回の学習の目安は以下の通りです。

### ◆第5回 文章題Ⅲ

和差算・分配算など、線分図を利用しながら取り組んでいく問題がテーマです。線分図は5年生で学ぶ、割合・比でも多く利用されます。まずは、基本的な内容のときから積極的に取り組むようにしましょう。「わかるから、かかなくてもいいや」と思っていると、必要になったときにかけなくなってしまうです。

#### ① 「例題と練習問題」

##### 例題1－和差算

線分図の関係から  $\text{大} = (\text{和} + \text{差}) \div 2$   $\text{小} = (\text{和} - \text{差}) \div 2$  の公式ができますね。理解した上で、これを利用していきましょう。

##### 例題2－分配算

3人以上の関係の問題では、必ず線分図をかきましょう。どうしても「影」が出てきて、まちがうことが多くなります。

##### 例題3－分配算

「～倍」の関係の問題では、基準が大切になります。だれの何倍であるのかをきちんと読み取りましょう。

##### 例題4－分配算

例題3に、「～円多く」「～円少ない」という条件がついた問題ですね。足したり、引いたりして、「～倍」の関係になおしましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

## ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

## ◆第6回 文章題Ⅳ

### ①「例題と練習問題」

例題1－差の変化に注意！

BからAに400円わたすと、Aは400円増えて、Bは400円減るので、「差」は一気に、 $400 \times 2 = 800$ (円)変化しますね。

例題2－2人の中でのやりとりは、「和」は一定。

2人の中でのやりとりは、「和」に注目しましょう。この問題では、兄＋弟はやりとりをする前と後では、変わらず  $850 + 590 = 1440$ (円)ですね。

例題3－2人が同じ金額を使えば、「差」は一定。

2人も同じ金額を使った(もらった)ときは、「差」に注目しましょう。この問題では、 $A - B$ は買う前と後では、変わらず  $2600 - 1200 = 1400$ (円)ですね。

このように、ある作業をする前と後で、「変わらないものに注目する」ことは、算数を解く上で、とても重要な考え方です。しっかりと身につけておきましょう。

例題4－結果から考えていく。

例題2と同様に、2人の中でのやりとりなので「和」は一定です。さらに、具体的な数が分かっている結果から、前にもどることが大切になりますので、理解を深めておきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

## ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。